

認証評価結果に対する改善報告書

平成30年7月27日

1. 大学名：東京富士大学

2. 認証評価実施年度：平成27年度

3. 「改善を要する点」の内容

基準項目：3-6

○平成23(2011)年度からの「経営改善計画書」実施以後も、収支バランスが改善されていないので、平成27(2015)年度からの「第1期中期計画」を確実に実行し、学生確保による安定した財務基盤の確立のために、計画の実行に真摯に取り組むよう、改善が必要である。

4. 改善状況及び結果

財政基盤強化に向けて、経営改善5ヶ年計画に基づき、平成28(2016)年度より収支構造の抜本的な改革を実施してきた。

収入面では、学生募集体制強化により入学者数の増加に伴い学納金等収入、保有資産の有効活用による収入増に積極的に取り組んできた。

一方、支出面では、総人件費の削減、教職員の退職による新規採用の抑制、定年後の再雇用、70歳以上の再契約の見直し、事務職員の任期制採用・パート、役員報酬の段階的引き下げなどを実施し、支出縮減に努めてきた。

その結果、平成29(2017)年度決算では、教育活動収支差額は、依然マイナスであるが、対前年比10.2%縮小している。引き続き、入学者数増加策の強化と支出抑制を図り、平成32年度には教育活動収支差額の黒字化の実現に取り組んでいる。

平成30(2018)年度以降についても、経営改善5ヶ年計画に従い、入学者数の増加と経費削減に取り組み、総学生定員充足率100%超と総人件費比率の低下、教育研究経費と管理経費の節減に努め、平成32(2020)年度に教育活動収支差額を黒字化し、財政健全化を実現する。

5. エビデンス（根拠資料）一覧

基準項目3-6の資料

【エビデンス_基準_3-6-1】事業活動収支の実績と見込み

【エビデンス_基準_3-6-2】平成28年度決算書

【エビデンス_基準_3-6-3】平成29年度決算書